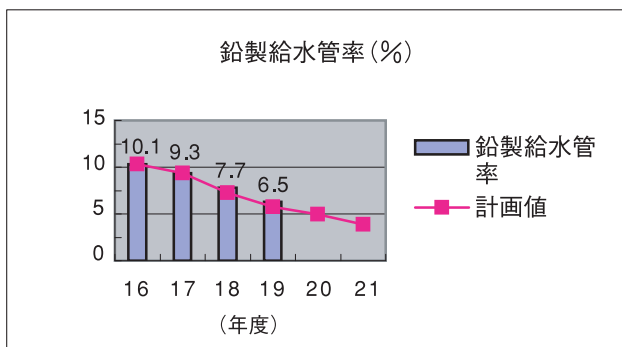


# 水道事業の業務指標

みなさまに「信頼され続ける水道」を目指して、水道事業の状況を分かりやすい形でお示ししサービスの向上を図るために、水道事業を数値化した「水道事業ガイドライン」の業務指標を試算しました。この指標は全部で137項目ありますが、その中で村の経営計画にも掲げた主な15項目についてお知らせいたします。

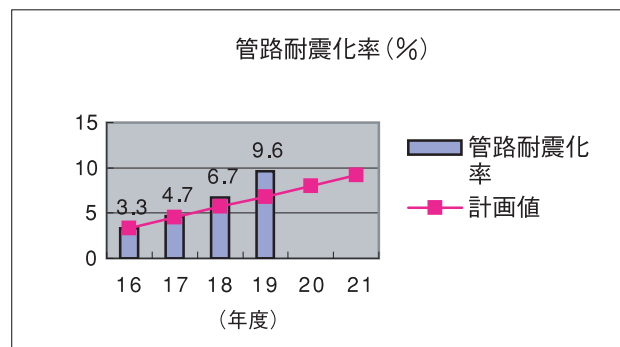
施策目標	指標	説明	H16	H17	H18	H19	H21	H26
			実績	実績	実績	実績	目標	目標
安心	塩素臭から見たおいしい水達成率(%)	消毒臭を感じない水の割合	50	50	50	50	100	100
	鉛製給水管率(%)	鉛製給水管が残っている件数割合	10.1	9.3	7.7	6.4	3.8	0
安定	配水池貯留能力(日)	非常時の生活用水を蓄える量	0.81	0.81	0.80	0.80	0.89	0.96
	給水拠点密度(箇所/100km <sup>2</sup> )	非常時に応急給水が可能な箇所	3.6	3.6	5.4	7.2	8.9	32.1
	管路の耐震化率(全線)(%)	水道管の耐震化割合	3.3	4.7	6.7	9.6	9.2	16.6
	管路の耐震化率(幹線)(%)	主要な水道管の耐震化割合	6.9	7.4	8.9	9.5	11.4	22.4
持続	経常収支比率(%)	単年度の経営状態	122.5	128.2	130.8	120.4	111.3	110
	給水収益に対する職員給与費の割合(%)	収入に対する人件費の割合	12.7	13.4	14.4	15.5	15.3	14.2
	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	収入に対する借金の割合	316.5	289.0	283.0	276.9	317.9	456.2
	給水原価(円/m <sup>3</sup> )	1m <sup>3</sup> の水を作るための経費	154.0	146.0	144.6	157.5	162.8	175.3
	水道業務経験年数度(年/人)	水道職員の水道経験平均年数	5.4	6.4	6.4	8.1	6.9	6.9
	水道サービスに対する苦情割合(件/1000件)	みなさまの水道に対する満足度	—	—	0.33	0.28	0.28	0.28
環境	配水量当たり消費エネルギー(MJ/m <sup>3</sup> )	1m <sup>3</sup> の水を作るための光熱量	0.75	0.91	0.88	0.88	0.75	0.75
	地下水率(%)	水道水源のうち地下水の割合	55.3	76.4	75.1	73.5	75	83.3
維持	漏水率(%)	水道管から漏れた水量の割合	8.6	6.6	8.4	6.6	5.1	4.5

## ●安心しておいしく飲めるために



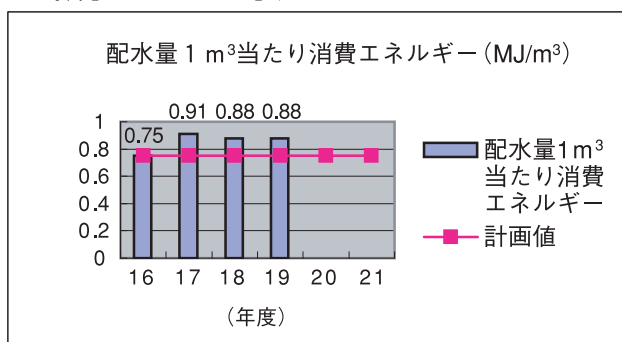
高水準の安心でおいしい水の提供をめざし、鉛製給水管を平成24年度までに全廃します

## ●いつでもどこでも安定して利用できるように



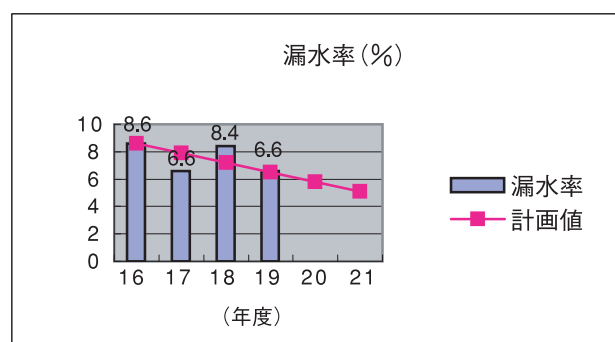
地震災害に強い水道をめざして、着実に事業が進められています。

## ●環境にやさしい水道をめざして



地理的優位を活かし、省エネ水道に努めます。

## ●水道システムの適切な維持管理



貴重な水道水源を大切に使うため、また二次災害を未然に防止するため、むだな漏水を減らしていきます。